



親子加工体験教室

みそ作り



研修交流会 (飾り巻き寿司)

伊賀市議会だより No.60 2020.2.1 賀会



寄せ植え教室

伊賀市 ^{うたのいえ}ミュージアム青山讃頌舎の設置及び管理に関する条例の制定

賛成多数で
可決

伊賀市の文化振興のため、優れた美術作品を身近に鑑賞できる施設を設置します

質疑(委員会)

問 9月議会上程時からの変更箇所は、名称と開館時間のほかに何かあるか。

答 名称と開館時間のみの変更である。

問 入館予定者数は、9月の説明で1,500人、今回の資料では10,000人と増加しているが、どのような試算をされているのか。

答 当初は現行の週2日開館による実績を基に試算を行った。今回は隣接する大村神社へ参拝される方の一部が入館されることを見込んだこと、また、週6日開館することから、有料入館者を6,000人、小中学生など無料入館者を4,000人、合わせて10,000人と見込んでいる。

問 入館無料化と開館日の短縮について議論はされたか。

答 受益者負担の観点から全ての入館者を無料にすべきではないと考えている。また、開館日については入館機会を増やすため6日間とした。

問 入館予定者数10,000人は多いと思うが、指定管理者にとって負担とならないか。

答 入館者数の確保は行政にも責任があると考えており、指定管理者や庁内各部署とも連携しながら集客に努めたい。



青山讃頌舎

討論(委員会)

賛成 ・今後、検討されるべき課題はあるが、既に寄附を受けたすばらしい施設であり、開館に向けて早期に進めるべきである。
・地域からも要望が出ており、地域振興の観点からもこれ以上先延ばしにすべきではない。

反対 ほぼ前回から変更が無い。もっと市民の理解を得ながら進めていくべきであり、時期尚早である。

伊賀市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正

賛成多数で
可決

効率的で効果的・持続可能な常備消防体制を構築するため、東消防署及び南消防署を分署とする1署7分署体制へ移行し、中消防署を伊賀消防署に改称するものです

【改正後の効果】 指揮命令系統の一本化、指揮隊の創設、通信指令業務の専従化、火災予防体制の充実強化、消防力の適正配置と働き方改革



質疑(委員会)

問 安心安全を守るための消防組織再編と言われているが、現場到着時間は遅くなるのではないか。

答 現在は、救急件数が多い「中消防署」管内へ各分署から応援しており時間が余分にかかっているが、今後、「中消防署」の体制を充実することにより、市全体では、到着時間が短くなると考えている。

問 「東消防署」、「南消防署」は現在2隊体制であるが、1隊となることへの影響はどうか。

答 救急については1隊が出動し、出動が重なる場合は他の署から応援している。また、建物火災の出動態勢は、従前から他署からの応援を前提として、消防車が4台、指揮隊と救急車含めて、合計6台が出動する体制をとっているため、これまでと変わりはない。

討論(委員会)

賛成 今後、随時見直し、改革していくことを意見として付す。

反対 分署は、人員が不足するため、救急車が出動した場合、消防車が残っていても、出動できない。また、本部が充実しても、現場の人が減るのは、市民サービスの低下につながるものである。

- 伊賀市地区市民センター条例の一部改正
- 伊賀市公民館条例の一部改正
- 柘植歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例の廃止

賛成多数で
可決

現在閉館中の「ふるさと会館いが」を廃止し、令和2年4月から西柘植地区市民センター、柘植公民館及び柘植歴史民俗資料館の機能を集約し複合施設にします。併せて、消費税引き上げに伴い一部公民館の使用料金を改定します

議案審査の前に、「ふるさと会館いが」の現地調査を行いました。地区市民センターとなる部屋、公民館として利用する部屋、歴史民俗資料の展示を行うスペース等の現状を調査し、今後改修が必要と見込まれる箇所などについて担当職員より説明を受けました。



ふるさと会館いが内



ふるさと会館いが

質 疑(委員会)

問 「ふるさと会館いが」を複合施設としたとき、現在計画されている館内のレイアウト等は、利用を予定している団体や展示に関する団体との協議の結果、変更することは可能か。

答 今後、空調や照明の配置を考慮しながら、各種団体と協議を行い調整していきます。

問 ふるさと会館いがを廃止するということは、今後、大ホールは利用しないということか。

答 解体等の計画が立てられるまでの間、活用いただける民間事業者等が見つければ(借主負担を条件に)貸し出したい。

【委員会では、継続審査となりました】



【本会議では、継続審査が否決され、再度委員会で審査を行いました】

質 疑(委員会…再審査)

問 伊賀支所や図書室が、当初の計画に戻って「ふるさと会館いが」へ移転することはないのか。

答 今後も伊賀支所や図書室を入れることは考えていません。

討 論(本会議)

賛成 柘植歴史民俗資料館は耐震がないことから、展示品を複合施設へ移すことには賛成するが、三偉人(松尾芭蕉・横光利一・橋本策)に関する展示場所は、関係団体としっかり協議を行い、市民への説明を求める。

反対 複合施設の計画は、当初予定されていた伊賀支所と図書室が含まれておらず、その説明は自治協議会の役員に行われただけで、計画に携わった様々な市民にはなされていない。また、支所のあり方も示されていないので、現時点では反対である。

一般会計補正予算(第5号) 5,805万3,000円の減額を可決

賛成多数で
可決

【主なもの】

●伊賀市ミュージアム青山讃頌舎開館準備経費	4,587,000円	
●行政バス運行経費	1,978,000円	
●空家等対策推進事業経費	2,200,000円	
●汚泥再生処理センター建設事業	△985,056,000円	など

産業建設常任委員会所管事務調査

(上野公園のバリアフリー化及び適正な維持管理について)

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、文化庁において文化財などのバリアフリー化を推進していこうという動きがあります。

産業建設常任委員会の所管事務調査として、上野公園のバリアフリー化について現地にて調査を行いました。



上野公園

【協議・検討している内容】

史跡に影響のない範囲での園路整備、段差解消、手すりの設置など

審議した議案と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対。欠は欠席。中谷議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成 反対	議決 結果	川上	北森	信田	西口	福村	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	嶋岡	田中	福田	森川	生中	上田	近森	百上	北出	空森	岩田	安本	中岡
			善幸	徹	利樹	和成	教親	栄樹	弘子	典子	岳人	久美	壮吉	覚	香織	徹	正嗣	宗久	正利	真奈	忠良	栄幸	佐俊	美奈子	久徳
令和元年度伊賀市一般会計補正予算(第5号)	22:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
伊賀市文化振興条例の制定	19:4	可決	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
伊賀市ミュージアム青山講壇舎の設置及び管理に関する条例の制定	13:10	可決	×	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○
【継続審査とすること】 ・伊賀市地区市民センター条例の一部改正 ・伊賀市公民館条例の一部改正 ・柘植歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例の廃止	6:17	否決	×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
伊賀市地区市民センター条例の一部改正	21:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠
伊賀市公民館条例の一部改正	21:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠
柘植歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例の廃止	21:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠
伊賀市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正	17:5	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠

全員賛成(同意を含む)で可決した議案

中谷議員は欠席のため※印の採決には入っていません。

市長提出議案	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ●令和元年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第3号) ●令和元年度伊賀市病院事業会計補正予算(第3号) ●令和元年度伊賀市下水道事業会計補正予算(第2号) ●伊賀市職員の給与に関する条例の一部改正 ●伊賀市駐車場条例の一部改正 ●伊賀市斎苑条例の一部改正 ●伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 ●伊賀市障がい者支援多機能型事業所の設置及び管理に関する条例の一部改正※ ●伊賀市給食センター設置条例の一部改正※ ●伊賀市火葬場設置条例の廃止 ●指定管理者の指定(上野運動公園野球場ほか19施設)(いがまちスポーツセンター)(大山田東グラウンド及び体育館)(伊賀市総合福祉会館)※(新居放課後児童クラブ)※(三訪放課後児童クラブ)※(西柘植放課後児童クラブ)※(赤井家住宅)※ ●公平委員会委員の選任(本城祐貴氏) ●教育委員会委員の任命(野口徹氏) 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算(第1号) ●令和元年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ●令和元年度伊賀市水道事業会計補正予算(第2号) ●伊賀市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正 ●伊賀市行政サービス巡回車の運行及び管理に関する条例の一部改正 ●伊賀市市税条例の一部改正 ●伊賀市印鑑条例の一部改正 ●伊賀市固定資産評価審査委員会条例の一部改正 ●伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正※ ●伊賀市営共同浴場条例の廃止 ●固定資産評価審査委員会委員の選任(中居喜芳氏、内田秀弘氏、前嶋卓弥氏、山本恵美子氏、佐々木弘江氏、秋永啓子氏)
--------	---	--



教育民生常任委員会

伊賀市PTA連合会と意見交換

11/19(火) 教育研究センター

本年度教育民生常任委員会が行政視察した「秋田県仙北市の学力向上及び宮城県多賀城市立図書館の取組みについて」というテーマで、伊賀市PTA連合会と出前講座を開催しました。

議員からは、仙北市で行われている「秋田探求型授業」を紹介し、授業の中で

- ①自分の考えを持たす
- ②グループで話し合う
- ③最後に振り返りをする

ことが授業の基本であることを説明しました。さらに、小学校入学時からの家庭学習の徹底、休み時間に自由にプリント学習ができる環境や、提出されたプリントは教員が確認しコメントを添えるなど、児童に学習意欲を持たせる取り組みがなされていることを報告しました。



意見交換においては、「学力向上のため、家庭学習で何をしたらよいかわからない児童がいるので、学校からアドバイスをし、学校や市全体で統一した指導ができるようにしていくべきではないか」、「教育委員会、教職員、保護者、地域すべてが現状を変えていくために家庭学習の大切さの意識を持ち、学力の底上げを図る必要がある事、そのための教育環境の整備や意識改革が重要ではないか」などの話し合いがなされました。

総務常任委員会

(一社)大山田温泉福祉公社と意見交換

11/29(金) さるびの温泉

「今後のさるびの温泉のあり方について」というテーマで出前講座を開催しました。

まず、公社から平成11年から現在までの運営状況の説明があり、「さるびの温泉を無償譲渡あるいは無償貸与してほしい、入湯税を老朽化したボイラーや空調施設の整備補修に充てられるかどうかの早急な返答がほしい」との要望がありました。

また、現在の状況として、「公社は運営の努力はしているが赤字決算となっている。解決策として割引チケットを配布したり、トレイルランニングとのコラボレーションを行ってきたが、入浴・来場者数が増えていない。チケット配布の回収率は20%程度に留まっている」と説明がありました。

さらに、今後のさるびの温泉のあり方について、「大山



田自治協議会に意見を求めているが、存続に対して反対の意見もある」と報告を受けました。

議員からは、大山田農林業公社や大山田財産区と連携してはどうかとの意見があり、話し合いがなされました。



総務常任委員会 10月23日(水)～25日(金)

- 埼玉県深谷市 「全国初のマイナス入札実施、ふるさと納税電子感謝券活用事業」
- 埼玉県戸田市 「戸田市政策研究所の取り組み」
- 神奈川県小田原市 「公共施設マネジメント」

共感される政策と財政負担の軽減を

埼玉県深谷市では平成30年に全国初のマイナス入札を実施しました。内容は、建物解体費が土地評価額を上回る場合、その差額を市が負担する仕組みで、土地活用を前提で応札するため、更地後の売却不成立の回避効果があるほか、利用されていない市有地が速やかに活用され、確実に財源(税込)確保が期待できるという効果があります。また、ふるさと納税電子感謝券では、お礼品ではなく、スマートフォンに電子ポイントを付与し、市内でのお買い物やサービスを受けることができるもので、地域に人を呼び込み、地域で消費していただくことを期待するものでした。



深谷市

埼玉県戸田市では、市職員の政策形成能力の向上を目的として、埼玉県初の自治体シンクタンクとして平成20年に設置され、これまで31件の研究事業と、公民連携を年間テーマとした市内自主勉強会「戸田ゼミ」を開催するなど様々な取り組みがなされていました。

神奈川県小田原市では、本庁舎を含め複数の公共施設に係る保守管理業務を包括的に委託し、施設管理業務品質の均一化と契約等の事務の省力化を図るための取り組みがなされていました。

今回の視察内容を参考に、今後議論研究を進め、政策提言についても検討していきたいと考えています。

教育民生常任委員会 11月5日(火)～7日(木)

- 秋田県秋田市 「(※)エイジフレンドリーシティ」
- 秋田県仙北市 「学力向上」
- 宮城県多賀城市 「市立図書館」

家庭学習の定着で学力向上を

秋田市では、「エイジフレンドリーシティ」の取り組みとして、高齢者ワンコインバス事業(1回100円でバスに乗車)、民間事業者による除雪作業ボランティアや思いやり駐車場の設置など、様々な取り組みがなされていました。

秋田県は全国でも小中学校の学力がトップクラスを推移しており、仙北市では学力向上の取り組みとして、国や県から研究指定校の認定を受け、特に教員の授業力向上や、小学校入学時からの家庭学習定着の取り組みがなされていました。

多賀城市では、中心市街地創造と東日本大震災復興のシンボルを兼ねて、新しい図書館が整備されました。3階建ての図書館は、各フロアにコンセプトを持たせることや、



多賀城市立図書館

書店、カフェ、レストランを併設し様々なイベントを催すなどの工夫がなされています。来館者や図書貸出し数が増加しているため、学習スペースの不足が課題となっているとのことでした。

今回は、高齢者などの住みやすいまちづくりや学力向上、図書館のあり方について調査してきました。これらの事例を参考に、今後の政策提言につなげていきたいと思っています。

※エイジフレンドリーシティ:WHO(世界保健機関)が提唱した障がいのある方や高齢者など誰にでもやさしい都市環境づくりを推進する概念。

産業建設常任委員会 10月9日(水)～11日(金)

- 長野県松本市 「松本城のバリアフリー化」
- 群馬県安中市 「(※)DMO推進事業」
- 群馬県高崎市 「企業誘致と立地施策」

誇れる観光都市に向けて

松本市の文化財活用のためのバリアフリー化は、文化庁の先進事例にも掲載されています。トイレの改修や簡易舗装などを行うには、都市公園と文化財の調整が必要となり、史跡保存活用計画の位置付けが大変重要です。伊賀市も上野公園の維持管理方針を考えていくにあたり参考となるものでした。

安中市では、観光振興にDMOの機能を取り入れ、個別に取り組んでいた観光地、宿泊施設、物産店舗等を広域的な視点で一元化する仕組みづくりを行っています。現在では、DMOの自主運営に向けての課題があり、伊賀市でも同様の課題について早い段階で検討していく必要があると感じました。



高崎市では、企業誘致と立地施策を積極的に取り組んでおり、産業立地振興奨励金制度が設けられていました。企業誘致する際は、位置や交通ではなく、働く従業員の福利厚生、子どもの教育環境の充実などを大きなセールスポイントとしています。この事例は大変参考となり、伊賀市においても、今後、検討議論していく必要があると感じました。

以上、先進地の事例を参考に、今後の政策提言につなげていきたいと思えます。

※DMO：地域観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。

議会運営委員会 11月7日(水)～8日(金)

- 福島県福島市議会
「議会基本条例の検証と議会改革の取り組み」
- 埼玉県川口市議会
「議員提案による政策条例」

議会の活性化に向けて

福島市議会では、議会基本条例の目的が達成されているかどうかについて、議会改革検討会という会議を設け、独自の評価基準により評価・検証を行っています。毎年この検証を行うことによって条例の基本方針などが意識できるものとなっている一方、議員自身による評価であるため、第三者の視点による検証がなされていないということが課題であるとのことでした。

また、川口市議会では、平成22年3月に初めての議員提案による政策条例が制定されて以降、これまで7件の条例が制定されています。条例案は、会派単位で提案され、



全会派の合意を得るための勉強会を何度も行い、議会に案を上程しています。また、条例案を作成するに至るまで、国の法律や県の条例の整備状況の事前確認や、他の条例との整合性など細部にわたる調査を議会事務局がサポートしているとのことでした。

伊賀市議会におきましても、両市議会の取り組みを参考に、議会基本条例の評価・検証の仕組みづくりや、さまざまな行政課題に対して議会政策討論会の場などを活用しながら、積極的に条例提案が出来るよう取り組んでいきたいと考えています。

一般質問

ここが聞きたい

市政を問う

一般質問は、12月9日、10日、11日の3日間で、16人の議員が市の諸問題についての質問をしました。その主なものを掲載しています。

[QRコードで録画映像をご覧ください]

山下 典子 議員

質問項目

- 成人式
- 子育て支援
- 農業政策
- 公共交通



問 民法改正で成人年齢が18歳に引き下げられる2022年4月以降の成人式の対象年齢は

答 18歳を対象とする方針です

新成人が社会的責任を持つ成人になる事を自覚する一つの節目であることや、社会としても18歳を成人として扱うことを確認する機会と考えます。しかし色々な課題があるので、式の形態、開催場所、時期等を含めどういった形が望ましいか検討します。

問 SNSによる子育て相談を

SNSによるコミュニケーションに慣れていく世代が子育てに悩んだ時に気軽に相談できる施策は。

答 QRコードでの相談を令和2年4月から開始する予定です

市のホームページ内に子育てに関する問合せ専用の画面を設け、QRコードでアクセスしていただきます。

問 JR関西本線亀山～加茂間のIC化の早期実現を

答 沿線自治体で構成する団体等でJR西日本に強く要望を行っておりますので、やがて実現することになると思っています



QRコード▶

西口 和成 議員

質問項目

- 公共施設最適化に向けた諸課題
- これからの国や県との関係



問 資産の寄附を受けるにあたっての考え方は

公共施設最適化計画を策定し、施設の総量削減を行っている中、議会の承認も無しに寄附を受け、市の施設が増加しています。維持費もかかることであり一定の仕組みを設ける必要があるのでは。

答 行政財産としての利用価値があるかどうかで判断します

資産の寄附等の申し出については、行政財産として利用予定がないものは断っています。利用価値については、一律の基準を設けることは困難であるため、それぞれの所管課で判断しています。寄附を受けるに

あたり利活用方法を検討し市民の皆さんに納得してもらえるように努めます。

問 市長が考える市と県、国の関係は

答 結果が出ればよいと考えます

市と県、国はヒエラルキー(階層)の関係ですが、私は、(*)イコールパートナーと考えています。忍路ルートについて、ステークホルダー(利害関係者)があり、申し上げる必然性はありません。

※イコールパートナー:対等な関係の協力者



QRコード▶

百上 真奈 議員

質問項目

- 市営住宅の駐車場管理
- 会計年度任用職員と官製ワーキングプア



問 八幡町市営住宅駐車場は無料で市の管理に

市営住宅の入居者の車は、駐車料金を取らずに空いた土地への駐車を認め、草刈等は住民が行っています。八幡町の市営住宅も、国の同和対策特別事業が終了したのですから、公有地を同和課から住宅課に所管を移し、駐車料金を取らずに市で管理することが、公平公正な行政ではありませんか。市民の財産である公有地を、八幡管理組合に条例規定の使用料より94%も減免して貸すことは、市民に不利益をもたらしているのではないですか。

答 市の管理は費用がかかり困難です

駐車場が点在しているため、市が管理することは困難です。地域で駐車場の運営方法を協議していただくよう支援するとともに、今までの経緯から会計や運営について透明性、公平性が担保されるよう十分注意していきます。公有地の有効利用であり市民の不利益になっていないと考えます。



QRコード▶

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

川上 善幸 議員

質問項目

- 伊賀市の将来を見すえた交通のあり方
- 農業課題に対する支援策



問 行政バスのフリー乗降とデマンド交通システムの推進を

阿山地域は、フリー乗降を進めています。他地域での導入やデマンド交通の可能性はありますか。

答 新しい交通として研究検証を行っています

行政バスのフリー乗降は、安全性が確保できれば可能です。デマンド型乗り合いタクシーの様なものを積極的に導入する必要がありますので、次の計画に位置付けたいと考えています。

問 獣害防止柵の支援を

更新の補助要望を国や県に行っていますか。

答 要望します

防止柵が設置済みの各住民自治協議会に更新要望のアンケートを行い要望します。

問 獣害防止柵の補修資材提供限度額の見直しと補強にも支援を

各区の集落規模に合った補助が必要です。また補修以外に補強にも補助できますか。

答 検討します

来年度から設置規模、被害規模等を考慮し、補助上限額を検討します。

なお、下部補強用パイプ等は補助しています。

QRコード▶



安本 美栄子 議員

質問項目

- 合併後15年の課題
- 人口減少時代の総合計画の考え方



問 上野地区の市民センターはどう変わるのか

合併後地区市民センターは何のために設置されたのか。住民説明会では、上野地区の市民センターの職員数減に触れ、現場の混乱を招き「ものの決め方と説明責任」が問われた。3人体制の中で命令系統が市長部局と教育委員会に二分される事について、職場での混乱と住民サービスの低下につながらないのか。

答 職員の採用方法は変わりますが3人体制を維持します

地区市民センターの設置目的は「地域における住民自治活動や、生涯学習活動により地域コミュニティを育む住民自治の活動拠点」と位置付けています。上野地区の市民センターの職員体制については、説明で混乱をきたしましたが従前通り3人体制を維持し、2名は地区市民センターで、1名は上野公民館からの派遣とし、活動の支援を行う事としました。センター内では、2つの命令系統を持ちますが、市民にとって遜色のないように努めていきます。

QRコード▶



生中 正嗣 議員

質問項目

- 市長就任2期7年の自己評価
- 市長と市民による対話(地区別懇談会)
- 会計年度任用職員制度と今後の支所のあり方
- 公共施設廃止後の現状と今後の利活用



問 市長就任7年間の自己評価は

勇気と覚悟をもって取り組まれた施策はありますか。

答 種々改善をしました

7年前に比べると1期目を土台にして様々な改善と、将来へのプランの提言ができたことと自負しています。

問 市民との懇談会をされてはどうですか

市長は常に「市民総意」、「市民目線」と言われるが、民意や提案を聞くための、小さな地区単位での懇談会をされてはどうですか。

答 必要があれば実施します

開催することはやぶさかではありません。

問 今後支所をどのようにしますか

合併後15年経過したが、これからの支所についての考え方は。

答 支所に代わるものが必要です

今のような支所は無くてもよいと思いますが、防災や危機管理を住民により近いところで支援するために、現支所に代わるものが名称も含め必要です。現在、新しい体制と併せて住民自治や地区市民センターのあり方について検討を進めており、案がまとまれば報告いたします。

QRコード▶



☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

市川 岳人 議員

質問項目

●市政に対する考え方



問 新しい洪水ハザードマップの周知は

全国的に想定外の規模の水害が頻発し今年度も多くの地域が被災しています。市では洪水ハザードマップを更新しましたが市民にどのように伝えていきますか。

答 全戸配布や地域に出向き説明していきます

全戸配布し伊賀市ホームページ上で公開するとともに、地域に出向き防災講話の出前講座を行い、防災意識を高めていきます。

問 バス交通再編の進め方は

来年度からの廃止代替バスは路線の統廃合、ルート変更、減便等大幅な再編となっ

ており、地域によっては異論や唐突過ぎるといった意見もあります。乗車してもらうバスにするためどのように進めていきますか。

答 地域に丁寧な説明を行い進めます

地域公共交通網形成計画に基づき改善を検討し、自治協を通じ再編案の説明をしてきましたが、住民にうまく伝わっていない状況もあります。住民周知については十分な時間と丁寧な説明が必要と考えています。

QRコード▶



森川 徹 議員

質問項目

●2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした伊賀市の観光誘客
●子どもたちを取り巻くネット環境及びスマートフォンの取り扱い



問 スマートフォン対策の現状は

小中学生のスマートフォン保有率が増加する中、児童・生徒への指導はどのようにされていますか。また、子どもたちをネット犯罪から守るためには、教職員の力だけでなく、保護者の協力とフィルタリング等の適切な利用を促していく必要がありますがいかがですか。更に就学前の幼児や保護者に対する指導はどうされていますか。



答 家庭と学校が連携した取り組みを進めていきます

道徳の時間などに情報モラルの教育を進めたり、警察や携帯電話会社など専門家による講演や、総務省のEネットキャラバンなども利用しながら啓発に努めています。保護者には、参観日に子ども達とフィルタリングも含めたスマホの研修会も行っています。また、就学前の幼児や保護者には、保健師グループの研究結果を反映させた市独自の「スマートフォンの正しい使い方」の啓発パンフレット作成を考えています。

QRコード▶



福村 教親 議員

質問項目

●交通安全対策の進捗状況
●学力向上の取り組み
●中心市街地の今後



問 ふれあいプラザから商業施設が撤退したことについての行政の責任と今後の方針は

答 商業施設の撤退は非常に残念です

多くの競合店の出店による売り上げの落ち込みと従業員の確保ができなかったことが撤退の原因です。今後の方針ですが、施設の老朽化が著しいため解体し、跡地に中心市街地の賑わいに資する施設の誘致などを計画します。なお、解体設計の実施については地元の自治協や自治会の皆さんと十分な協議をし、理解を得たうえで行います。

問 東町ポケットパークの工事反対看板が未だ立っている状況どのように受け止めていますか

市長は有志の方との話し合いの場に出席する気持ちはあります。

答 地元住民自治協議会とは協定書を交わして進めています

有志の方とは、どなたなのか承知していません。教えていただければお会いするのはやぶさかではありません。

QRコード▶



☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

上田 宗久 議員

質問項目

- 住民自治と地区市民センター職員体制
- 上野遊水地に関する地区要望

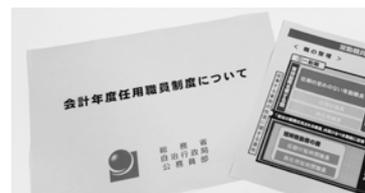


問 「市民センター職員体制」の制度移行が来年度開始となりますが、住民自治協議会との友好な関係が保たれるとお考えですか

これまでの地区市民センター職員は、住民自治協議会長と市長との協定書に基づき、各地区会長の推薦によって市長が委嘱し就任してきました。しかし、2年前公布の「会計年度任用職員制度」が来年度から施行されることに伴い、地区推薦ができなくなり、この項を協定書から削除する必要がありますが、本件の説明は、公募締切後の12月となり、地域に疑念と混乱を与えています。また、9月議会でも関連する2条例改正案の「全会一致の否決」があり、センター

職員の「職務内容厳格化」の説明にも不透明な部分があります。今後、どのように対応されますか。

答 議会や住民自治協議会にご指摘いただいたことを踏まえ、丁寧に説明していきたいと考えています



総務省資料

QRコード▶



田中 覚 議員

質問項目

- 生老病死



問 (※1)パラダイムが変わります

(※2)5G、AI、IOTに代表される時代、パラダイムが変わります。行政の究極の目的は、市民の(※3)生老病死の苦しみを少しでも緩和することです。支援者、支援団体、支援地域の要望など、あれもこれも行政サービスを増やしていくと、次の時代にツケを回すこととなります。

一般ごみの集約化、排熱利用による近郊栽培、運動公園の移転と女子サッカーのプロ化支援など、東京ドーム40個相当分の青蓮寺用土地改良区の未利用地や荒廃地の土地利用が必要です。それぞれが重荷であっても、集めてみると見方が変わると思いますがいかがですか。

答 ワンチームで頑張ります

経営とは、何を始めるかだけでなく何をやめるかであり、個々に見るのではなく、全体最適で見てまいります。また、ご提言に対して、広い視野で進めてまいります。

※1 パラダイム:ある時代や分野において支配的規範となる「物の見方や捉え方」のこと

※2 5G:第5世代移動通信システム
AI:人工知能
IOT:モノのインターネット

※3 生老病死:避けることのできないこの世での人間の4種の苦悩。生まれること、老いること、病気をすること、死ぬこと。

QRコード▶



嶋岡 壮吉 議員

質問項目

- 高齢者の運転免許証の返納
- 空き家の固定資産税
- 市に対する要望書等の回答



問 空き家対策の現状は

空き家が増加していく中で、市の取組みの状況と(※)特定空家に指定された空き家の固定資産税は。

答 空き家バンクの利用と、認定された特定空家の改善を進めています

市内の空き家総数は約2,100棟あり、空き家バンク等の対策が始まってから、空き家数が若干減少し、現在の空き家率は6.4%です。しかし、利活用が進みにくい中心市街地では増加傾向にあります。また市全体では高齢者世帯が増加傾向にあり、空き家の増加が予想されます。特定空家につ

いては、287棟を認定し、うち75棟が改善されました。改善されないと認められた場合は勧告し、進まないときは措置命令、代執行となります。これまで、指導は543棟、勧告は4棟、略式代執行は1棟となっています。

なお、勧告を受けた特定空家の土地の固定資産税は、住宅用地の特例の適用が受けられなくなり、最大6倍になります。

※特定空家:空家法に定める、周辺地域や近隣住民の身体・生命・財産に影響を及ぼす空き家

QRコード▶



一般質問

岩田 佐俊 議員

質問項目

- 山神橋に関して
- スマートフォン使用に関わる犯罪
- 広報いが市に関して
- 合併特例債に関して



問 山神橋の1日も早い復旧を願う

山神橋が全面通行止めとなり早や2年となりましたが、その後手つかずのままであるため、市民から進捗状況についての情報を聞かせてほしいとのことですが。

答 国、県、地域との協議を重ねてきました

当初、国土交通省は大規模修繕・更新補助事業の中で集約化撤去事業が拡充され、山神橋、土橋橋の2橋を1橋に集約せよとの指導でしたが、地域としてはこの案では受け入れないとの結論になり、単純更新事業で了解を得られました。

問 今後のすみやかな復旧計画は

答 地元同意が得られたことから、令和3年度事業採択に向けて予備設計、地質調査等の基本設計に取り組みます

事業費約21億円、完成までは約9年間の計画です。また、損傷した橋脚の一部撤去を考えています。

QRコード▶



桃井 弘子 議員

質問項目

- 子育て支援



問 市内外の方にご利用いただける複合施設が伊賀市に一つ必要ではないですか

さるびの温泉では、集客のある事業に多々取り組まれています。また、忍道プロジェクトにも関わっています。屋外施設は現在あるものを活用し、屋内施設も利用すれば全天候型で利用できると思いますが、いかがですか。

答 実現するために前向きに考えます

子育てを切り口にした観光面の充実が良い考えだと思います。前向きに考えて良い方向性を探っていきます。

問 令和元年6月議会で質問した、移動可能な完全個室の設置型授乳室のその後の進捗状況は

答 次年度に庁内関係各課協議のもと、一定条件を付した上で、広く一般公募し、制作したいと考えています



さるびの温泉

QRコード▶



宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 外国にルーツを持つ子どもたちに対する教育の充実
- 特別支援教育の充実
- 会計年度任用職員制度
- 名阪国道有料化を国に要望する動き



問 日本語指導が必要な子どもたちに対する初期適応教育の充実を

初期の日本語指導や学校への適応指導を行う初期適応指導教室へ入級する外国にルーツを持つ児童・生徒(2018年度で25人)が年々増加傾向にあります。子どもたちが当たり前で学校生活を送ることができるよう、また、高校や就職など次の進路に進み、その後伊賀に定着していけるように、初期の段階で集中して言語を学ぶ必要があると考えます。今後、指導員の確保やICT(情報通信技術)の活用など、どのように初期適応指導の充実を図りますか。

答 状況に応じて対応します

入級する児童生徒が急に増加する場合には、他の指導員に要請する(体制強化)などし、また、授業でのICTの活用も検討します。

日本語指導が必要な児童・生徒数の推移 (総児童・生徒数に対する割合)

	2017年度	2018年度	2019年度
小学校	233人(5.3%)	233人(5.3%)	245人(5.7%)
中学校	64人(2.9%)	83人(3.8%)	97人(4.4%)

QRコード▶



☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

近森
正利
議員

質問項目

- 防災力の向上
- 子どもたちのSNS利用
- さくらリサイクルセンター
- 子ほめ条例



問 伊賀市防災計画に^(※)フェーズフリー思想を

日常時と災害が起きた非常時という2つの時間、フェーズについて分けることをやめて、防災に新しい概念「フェーズフリー」を普段の生活の中に取り入れる事を提案します。頻度が高い事象には、人は経験を通して学習し備えることが出来ますが、災害の頻度は、地域や時間を限定すると高くありません。ここに、防災を推進することの本質的な困難さがあります。防災の必要性を訴えても効果が上がりませんでした。社会に求められるのは、防災のための特別なモノではなく、普段の生活の中で自然に使い、さらに非常時にも役立つモノ「フェーズフ

リー」なモノが増えることにより災害に強い安全で安心な社会が実現できると思いますが、市の防災計画に取り入れますか。

答 事例等により防災計画の中でどの様に反映及び活用出来るか研究します

※フェーズフリー：平常時と災害時という社会のフェーズ(段階、局面)を取り払い、普段利用している商品やサービスが災害時に適切に使えるようにする価値を表した言葉

QRコード▶



☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています



研修会

伊賀市・名張市議会連絡協議会 議員研修会 11月14日

客観的なデータに基づく政策立案を

伊賀市、名張市の両議員で構成する伊賀市・名張市議会連絡協議会の議員研修会が開催され、両市の議員37名が参加しました。



この研修会は毎年開催されており、本年度は、中部経済産業局総務企画部企画課RESAS(地域経済分析システム)普及活用支援調査員酒井仁志氏、前田研人氏を講師としてお招きし、「RESAS活用研修～ビッグデータを活用した地域の現状分析と今後の政策立案に向けて～」と題した講演を受けました。

RESASとは、地域経済に関する様々なビッグデータ(産業の強み、人の流れ、人口動態など)を地図やグラフで分かりやすく「見える化(可視化)」したシステムです。

■ 議会活動の報告 ■

研修では、実際にタブレット等を使用し、ビッグデータを活用した地域分析の手法を学び、客観的証拠に基づく政策立案の重要性を改めて認識しました。

1. RESASの特徴

- インターネットにて無料で提供しており、誰でも利用可能。
- データや機能は随時更新・追加されており、**進化するシステム**
- 公的なデータ(統計など)だけでなく、**民間企業のデータ(GPSデータなど)も搭載**
- 国が一括して官民のデータを調達・加工しているため、**他地域との比較も容易**

2. RESASを活用した地域分析の流れ

今までの勘・経験・思い込みから

強み・弱みや課題を深掘り

RESASで地域の
「現状と課題」をデータで把握

地域の課題発見、
解決策の検討

データに基づく政策立案へ!

新庁舎で 初の訓練!



11月19日、新庁舎で初めての総合消防訓練があり、消防署職員、市職員、市議会議員など関係者が参加しました。5階議場フロアでは2名の議員が、煙で逃げ遅れた議会を傍聴していた市民とそれに付き添う議員に扮し、はしご車で救助される訓練が行われ、他の議員も指示に従い階段で避難しました。

いつ起こるかかわからない火災に備えて、あらゆる状況を想定した訓練の実施と、その内容を身につけ今後に備えていく必要性を認識するものでした。

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴できます。

市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴してください。

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の2日前(土日祝除く)までに市議会事務局に申し出てください。(対象となる会議…一般質問)
- 議場傍聴席に「FM補聴システム」を設置しています。

※本会議・予算常任委員会の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。(再放送は午後7時から)

市議会だよりNo.59(2019.11.1発行)の5ページに掲載しました記事に誤りがありました。

伊賀市地区市民センター条例の一部改正

5ページ右 囲み枠の中 **誤** 討論 (委員会) **正** 討論 (本会議)

お詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501 伊賀市議会事務局「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687 E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出しています。希望される場合は、上記までお問い合わせください。



編集 後記

新年を迎えて最初の「夢追い人」には、農業分野での「女性活躍」を、25年も前から築き上げてこられた「スマイル・くノ一」のみなさんに登場していただきました。

今年も市民と議会をつなぎ、議会活動や市政に注目していただけるような紙面づくりを心掛けてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。(百上)

令和2年3月定例会日程(予定)

- 2月26日(水) 本会議(開 会)
- 3月 4日(水) 本会議(一般質問)
- 5日(木) 本会議(一般質問)
- 6日(金) 本会議(一般質問)
- 9日(月) 本会議(一般質問)
- 10日(火) 予算常任委員会
- 11日(水) 予算常任委員会
- 13日(金) 予算常任委員会
- 16日(月) 予算・決算を除く各常任委員会
- 17日(火) 予算・決算を除く各常任委員会
- 25日(水) 本会議(閉 会)

※本会議と予算常任委員会は10時から始まります。

その他の各常任委員会は、開会日に決定します。

※本会議等は市議会議場または委員会室で開催します。

※定例会の日程は、変更になる場合もあります。

会議の内容を閲覧できます

市議会本会議等の会議録は伊賀市ホームページや議会図書室(冊子)でご覧いただけます。

令和元年12月定例会の会議録は2月26日以降となります。なお、会議録が出来上がるまでの間はホームページで音声をお聴きいただけます。

次号は5月1日です。

発行:伊賀市議会 編集:伊賀市議会広報委員会

4月から「広報いが市」が毎月1日号の発行になることに伴い、市議会だよりも5月15日号から5月1日号に変更します。

応援します!! ★ 夢追い人 ★

第3弾

今回は、平成6年から伊賀地区で活動されている女性農業者のグループ「スマイル・くノ一」さんによる寄せ植え教室の現場取材しました。

若手女性農業者の良き理解者である「スマイル・くノ一」の代表、
みなみで かすみ
南出和美さんにお話を伺いました。

作り手の思い、食の大切さも伝えていきたい



●「スマイル・くノ一」ってどんな組織ですか？ また、南出さんが入ろうとしたきっかけを教えてください

「スマイル・くノ一」は伊賀地区で農業経営を主体的に行っている女性農業者で構成された組織です。現在12名(伊賀市10名、名張市2名)で活動しています。入るきっかけとなったのは、20年ほど前になりますが、近所の農家の方に誘っていただきました。

●どんな活動をしているのですか？

主な活動は、他地区との交流会、親子加工体験教室、寄せ植え教室、みそ作り、視察研修会などを行い、伊賀の農産物や農業を発信しています。毎年夏に行っている親子加工体験教室は、食育推進の一環としてとても好評をいただいています。

●みなさんは、どのような農作物等を作られているのですか？

水稻、山林苗木、いちご、豚肉、鶏卵、野菜などを生産しています。今日の花壇苗は、「スマイル・くノ一」OBの農家で作られたものなんですよ。

作っているものは違っても、同じ農業をしているので、なぜか話が合うんです

「スマイル・くノ一」の
みなさんの声をご紹介します

あなたにとって「スマイル・くノ一」とは？

- ★農業には、休みがありません。スマイルはそんな私の息抜きの場となっています。
- ★農家にお嫁に来ましたが、はじめは農業が楽しくありませんでした。ここに来て、同じような悩みを持ちながら農業を頑張っている方がいることがわかり、今はとにかく楽しいです。いろんなことをワイワイガヤガヤ話し、情報交換して、ホッとできる場となっています。
- ★スマイルに来たら、明日からまたがんばろうというパワーをもらえます。私一人だけでなく、みんながそんな気持ちなんです。



★皆さんのアイデアに驚かされます。いろんなアドバイスをもらい、仕事に活かしています。皆さんの素敵なアイデアを絶やしたくないので、若い女性農業者の団体(※1)「リリーベル・くノ一」のみんなに伝えていきたいです。

★毎日慣れない農業と子育てが大変でしたが、子育てが一段落し、(※2)農村女性アドバイザーになろうと決めました。そのためにもいろんな方と交流を持ちたいと考え参加しています。(リリーベル・くノ一参加者)

※1 リリーベル・くノ一:スマイル・くノ一からの提案で、「若い女性農業者の育成と活動の場」として作られた交流の場
※2 農村女性アドバイザー:平成8年度から三重県が認定している農林業や地域活動に意欲的に取り組む農村女性のリーダー

最後にメッセージをお願いします!

★一人では何もできませんが、こうやって信頼できる仲間がいることがありがたいです。そして元気な農家のお母さんたちが頑張っていることを知ってもらいたいです。世代を超えて活動していますので、農業をしている方、農業に興味のある方はぜひ私たちと一緒に活動してみませんか。



これからもライフワークとして「食」を通じて子供たちに食べ物の大切さを伝えたいと話された「スマイル・くノ一」さん。ますますのご活躍を期待しています。

今回は、
子育てを
テーマにします。

♪伊賀市議会タウンミーティング♪

「子育て」 について

議員と語ろう!

公園・
あそび場
のこと!!

学校
のこと!

幼稚園・
保育所(園)
のこと?

小児医療
のこと?

▶子育てのことなら何でも!!▶

日時

2020(令和2)年2月15日(土)
午後7時～午後9時(受付開始 午後6時30分～)

場所

伊賀市役所5階議場及びロビー
(伊賀市四十九町3184番地)

対象

市内在住の方、市内へ通勤・通学されている方

テーマ

「子育てについて」

その他

- グループに分かれていただいていたの意見交換を予定しています。
- 参加費は不要で、定員は50名です。
- 議員全員の出席を予定しています。



お申込み
について

- 「氏名」、「連絡先」及び「タウンミーティング参加希望」の旨を、下記のEメール、FAX(どちらも様式は問いません)または電話(土・日・祝日を除く8時30分から17時15分まで)でお申込みください。【メ切:2月12日水曜日】
- 定員50名を超えた場合、申し込みをお断りさせていただく場合がございます。その際は、伊賀市議会ホームページでお知らせいたします。

主催/伊賀市議会 お問い合わせ/伊賀市議会事務局議事課
TEL 0595(22)9687 FAX 0595(24)7901 Eメール gikai@city.iga.lg.jp